

武蔵野市第六期長期計画案 財政計画、財政シミュレーション（抜粋）

1 財政計画（令和2（2020）～令和6（2024）年度）

歳入

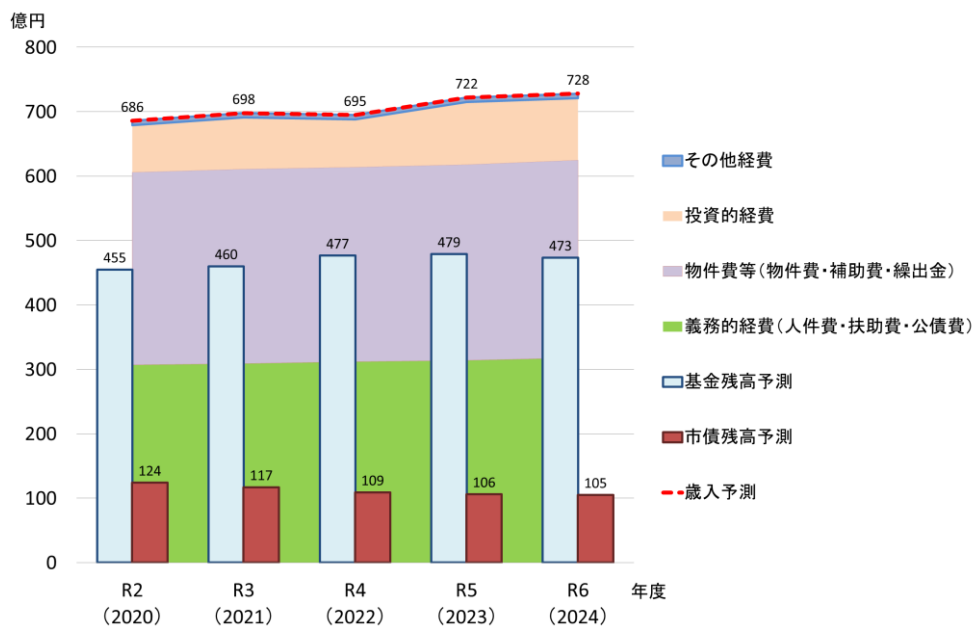
（単位 億円）

	H29 (2017) 決算	H30 (2018) 予算額	R1 (2019) 予算額	R2 (2020) 計画額	R3 (2021) 計画額	R4 (2022) 計画額	R5 (2023) 計画額	R6 (2024) 計画額	合計額 R2～R6 年度
市税	400	404	411	409	412	418	419	415	2,073
国庫支出金	82	84	91	99	101	104	108	108	520
都支出金	70	69	76	60	62	62	63	63	310
繰入金	12	9	27	35	38	27	42	51	193
市債	3	1	6	6	7	5	10	11	39
その他	100	69	69	77	78	79	80	80	394
計	667	636	680	686	698	695	722	728	3,529

歳出

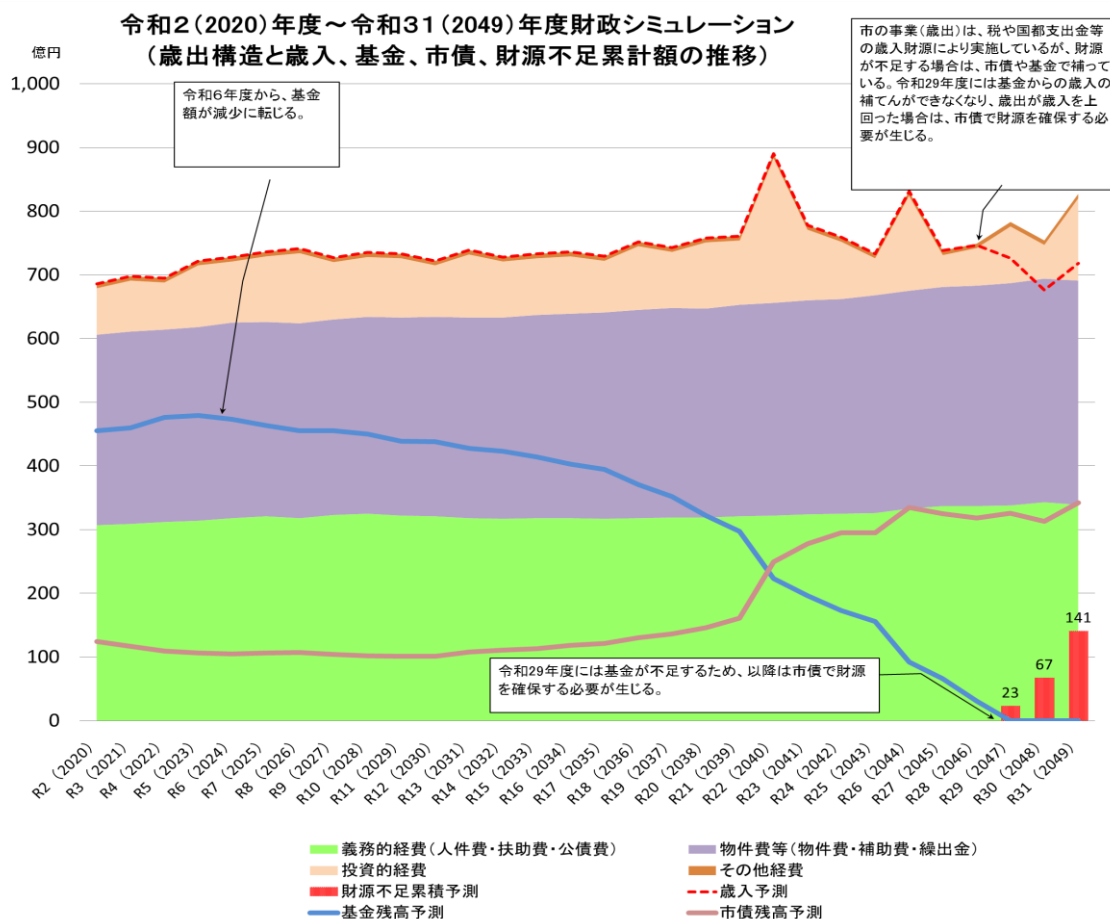
	H29 (2017) 決算	H30 (2018) 予算額	R1 (2019) 予算額	R2 (2020) 計画額	R3 (2021) 計画額	R4 (2022) 計画額	R5 (2023) 計画額	R6 (2024) 計画額	合計額 R2～R6 年度
人件費	92	94	98	104	102	99	97	101	503
扶助費	152	165	168	185	191	198	203	204	981
公債費	19	19	16	18	16	15	14	13	76
物件費	146	158	166	165	166	166	167	169	833
補助費等	66	72	75	74	73	73	73	73	366
繰出金	52	57	62	60	63	63	64	65	315
投資的経費	74	65	87	73	80	74	97	96	420
その他	37	6	8	7	7	7	7	7	35
計	638	636	680	686	698	695	722	728	3,529

令和2（2020）～令和6（2024）年度における財政計画及び一般会計における  
 基金と市債等の残高見込み（歳出構造と歳入、基金、市債、財源不足累計額の推移）



○投資的経費については、計画期間中には新学校給食桜堤調理場（仮称）建設事業、小中学校の改築、市庁舎設備改修工事、公共施設の保全工事などが予定されている。

## 2 長期財政シミュレーション【参考】



- 第六期長期計画期間(令和2(2020)年度から令和11(2029)年度まで)の財政は比較的安定的に推移するものと見込んでいる。しかし、計画期間以降は、公共施設等の更新を現在と同じ水準で進めた場合には基金は減少に転じ、令和29(2047)年度に基金がなくなり、令和31(2049)年度には141億円の財源不足となることが想定される。
- 本シミュレーションでは、大型公共施設の建替えにかかる投資的経費が、財政に大きな影響を与える結果となった。しかし、これらの投資的経費については、その規模や質を見直すことにより、圧縮は可能である。
- 将来にわたって充実した住民サービスを継続していくためには、財政規律の維持、経常経費の節減、公共施設等の送料や整備水準の見直しに努めることにより、持続可能な財政運営を行っていくことが重要である。